

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,162	12.6	3		8	65.7	5	37.7
2020年3月期第1四半期	1,330	8.4	35	66.5	23	74.7	8	85.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 29百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 27百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.57	
2020年3月期第1四半期	8.94	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,750	4,066	44.3
2020年3月期	8,007	4,116	49.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,879百万円 2020年3月期 3,919百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		70.00	70.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で業績予想が困難なため、未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であることから社会経済活動の停滞状況の先行きが不透明であり、適正かつ合理的な算定が困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想において合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,000,000 株	2020年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	66,107 株	2020年3月期	66,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	933,893 株	2020年3月期1Q	933,925 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、社会経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となりました。また、景気の先行きについても、感染の収束時期が見込めず、ますます不透明感を強めています。

このような状況の下、当社グループでは昨年度より掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロにゆだね、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいりました。そして、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しました。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、具体的な課題解決を図るべく各種プロジェクトを立ち上げ、その推進をしてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動停滞影響を受け、売上高は前年同期比12.6%減の11億6千2百万円（前年同期13億3千万円）となり、利益面では、3百万円の営業損失（同3千5百万円の営業利益）、経常利益で同65.7%減の8百万円（同2千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同37.7%減の5百万円（同8百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内、海外売上ともに、拡販努力による一部の商品や地域について増加がありましたものの、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞や営業活動に制限を受けたことを要因として減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比13.4%減の11億1百万円（前年同期12億7千2百万円）となりました。利益面では売上減少に対応した経費節減を行いました。減収影響が大きく、3千2百万円のセグメント損失（同7百万円のセグメント利益）となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数及びお客様一人当たり売上高は、期初において新型コロナウイルス感染対策として打ち出された外出自粛要請を受けた入場制限や時短営業実施の影響がありましたものの、感染対策を講じた上で営業を継続したことに加え、前年度までに実施してまいりましたサービス向上や集客施策の奏功もあり、前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比5.0%増の6千1百万円（前年同期5千8百万円）となりました。セグメント利益は増収により、同6.2%増の2千9百万円（同2千8百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億4千3百万円増加しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比7億2千3百万円増の58億7千9百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同2千万円増の28億7千万円となりました。これは減価償却による有形固定資産の減少がありましたものの、投資有価証券の時価評価に伴う増加があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億5千5百万円増の26億1千7百万円となりました。これは主に買掛金や未払法人税等の減少がありましたものの、短期借入金や未払費用が増加したことによるものです。

固定負債は同6億3千7百万円増の20億6千5百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比4千9百万円減の40億6千6百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加がありましたが、配当支出による利益剰余金の減少があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であることから社会経済活動の停滞状況の先行きが不透明であり、適正かつ合理的な算定が困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想において合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,000,937	2,919,027
受取手形及び売掛金	1,166,296	833,441
電子記録債権	152,302	138,180
商品及び製品	1,235,589	1,351,304
仕掛品	314,563	324,448
原材料及び貯蔵品	220,086	233,070
その他	72,388	85,950
貸倒引当金	△5,514	△5,451
流動資産合計	5,156,650	5,879,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949,947	948,920
土地	673,026	673,026
その他(純額)	529,583	511,092
有形固定資産合計	2,152,557	2,133,039
無形固定資産	55,901	52,284
投資その他の資産	642,059	685,317
固定資産合計	2,850,518	2,870,642
資産合計	8,007,169	8,750,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,788	267,566
短期借入金	1,604,670	1,729,158
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	36,139	22,805
その他	462,642	538,422
流動負債合計	2,462,240	2,617,952
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	1,027,440	1,678,615
退職給付に係る負債	72,699	74,289
その他	237,953	222,775
固定負債合計	1,428,093	2,065,679
負債合計	3,890,333	4,683,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,486,445	2,426,273
自己株式	△164,084	△164,084
株主資本合計	3,773,406	3,713,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,227	166,045
その他の包括利益累計額合計	146,227	166,045
非支配株主持分	197,201	187,702
純資産合計	4,116,835	4,066,982
負債純資産合計	8,007,169	8,750,614

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,330,893	1,162,837
売上原価	845,691	757,564
売上総利益	485,202	405,272
販売費及び一般管理費	449,823	408,415
営業利益又は営業損失(△)	35,378	△3,143
営業外収益		
受取配当金	7,600	5,944
受取家賃	2,305	890
助成金収入	—	22,120
その他	2,939	1,933
営業外収益合計	12,845	30,888
営業外費用		
支払利息	8,118	7,448
売上割引	12,388	11,080
その他	3,743	991
営業外費用合計	24,250	19,519
経常利益	23,974	8,225
税金等調整前四半期純利益	23,974	8,225
法人税等	12,898	△1,476
四半期純利益	11,075	9,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,722	4,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,353	5,200



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	11,075	9,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,562	19,817
その他の包括利益合計	△38,562	19,817
四半期包括利益	△27,487	29,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,629	25,018
非支配株主に係る四半期包括利益	2,141	4,501

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,272,243	58,649	1,330,893	—	1,330,893	1,330,893
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,272,243	58,649	1,330,893	—	1,330,893	1,330,893
セグメント利益	7,306	28,072	35,378	—	35,378	35,378

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,101,277	61,559	1,162,837	—	1,162,837	1,162,837
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,101,277	61,559	1,162,837	—	1,162,837	1,162,837
セグメント利益又は 損失(△)	△32,954	29,811	△3,143	—	△3,143	△3,143

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。